

2022年度第1四半期決算説明資料

2022年8月5日

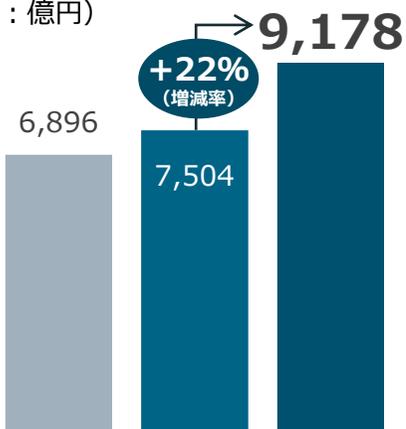
三菱重工業株式会社

I. 決算のポイント	3-6
II. 2022年度第1四半期決算実績	7-15
<ul style="list-style-type: none">• 連結経営成績サマリー• 連結財政状態、キャッシュ・フロー• 事業利益増減分析• セグメント情報	
III. 2022年度業績見通し	16-18
IV. 補足資料	19-22

I. 決算のポイント

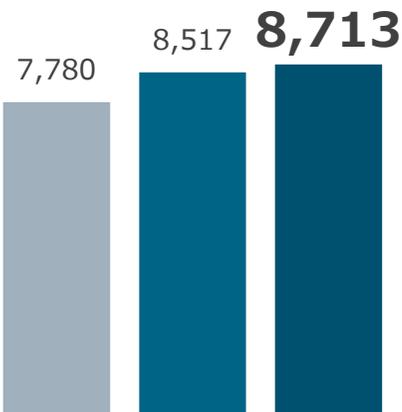
受注高

(単位：億円)



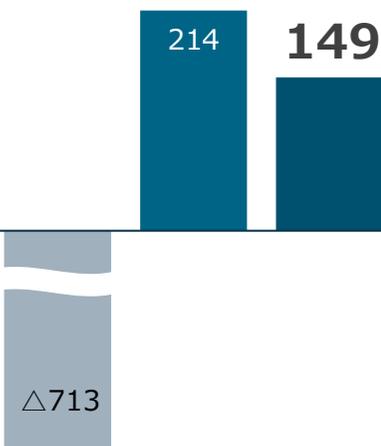
FY20-1Q FY21-1Q FY22-1Q

売上収益



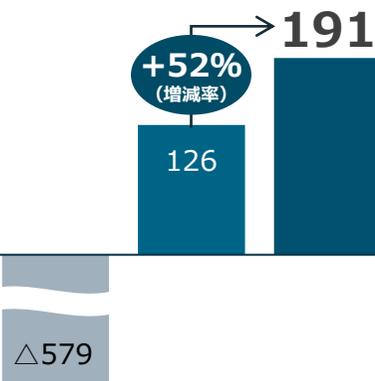
FY20-1Q FY21-1Q FY22-1Q

事業利益



FY20-1Q FY21-1Q FY22-1Q

当期利益



FY20-1Q FY21-1Q FY22-1Q

EBITDA

472

億円

(YoY △65億円)

EBITDAマージン

5.4%

(YoY △0.9%)

フリーCF

△1,597

億円

(YoY +75億円)

営業CF

△1,481億円

(YoY △56億円)

有利子負債

9,694

億円

(YoY △1,604億円)

純有利子負債

5,903億円

(YoY △2,661億円)

D/Eレシオ

0.57

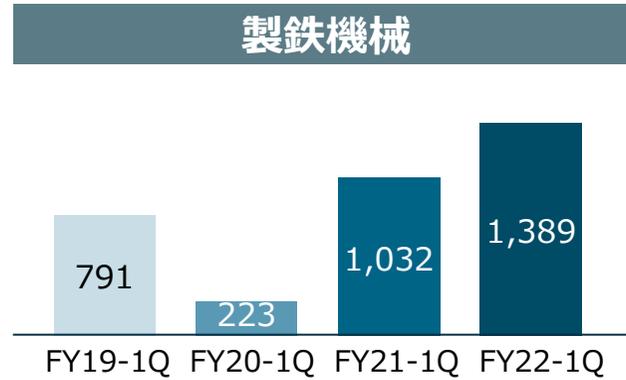
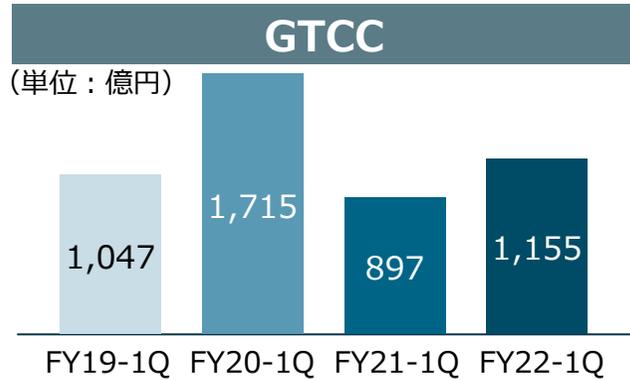
(YoY △0.22)

自己資本比率

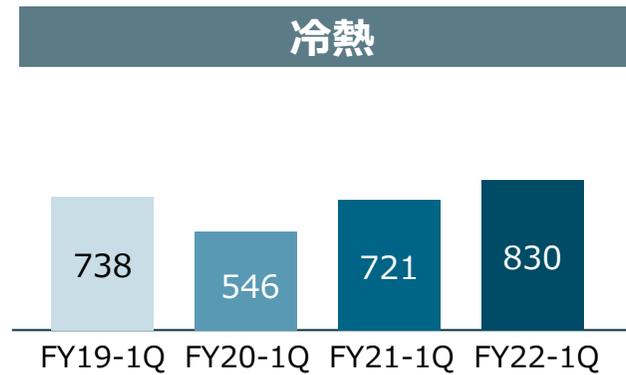
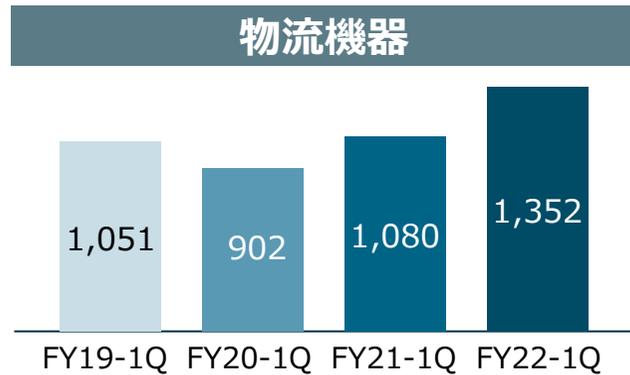
30.2%

(YoY +2.8%)

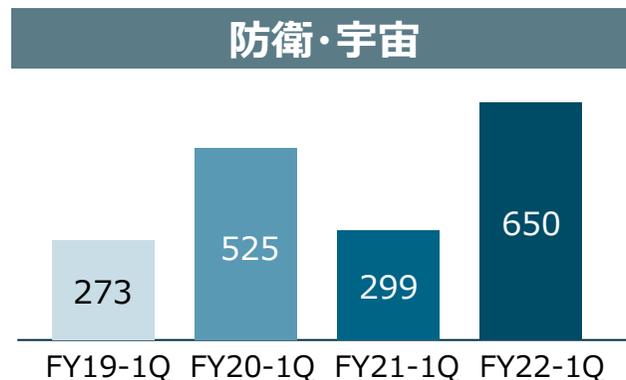
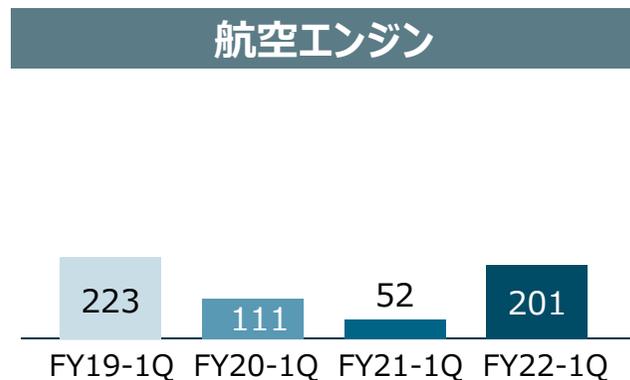
- 受注高：9,178億円（前年同期比：+1,673億円）
全セグメントで前年同期比増加
主な事業別では、GTCC、航空エンジン、製鉄機械、物流機器、冷熱、防衛・宇宙が好調【詳細はスライドP.6で補足】
- 売上収益：8,713億円（前年同期比：+196億円）
エネルギーと物流・冷熱・ドライブシステムが前年同期比増収
主な事業別では、GTCC、航空エンジン、物流機器、冷熱が好調
- 事業利益：149億円（前年同期比：△65億円）
石炭火力事業の欧州拠点縮小に伴う一時費用、材料費・輸送費の高騰に対する価格適正化の実現時期の時間差などの減益要因があるものの、
売上増、固定費削減、アセットマネジメントにより149億円の事業利益を確保
- 当期利益：191億円（前年同期比：+65億円）
円安進行による為替差益が寄与し、前年同期比で事業利益は減少したものの
当期利益は52%増加し191億円となった



- GTCCはアジアと米州において新設案件を受注
- 製鉄機械は鉄鋼メーカーの設備投資意欲が強く日本を含むアジア、米州を中心に新設案件を受注



- 物流機器は昨年度から需要が旺盛な北米と欧州を中心に受注が拡大
- 冷熱は日本を含むアジアの受注が伸長



- 航空エンジンはスペアパーツ等アフターサービスの受注が増加し、コロナ禍前の水準まで回復

Ⅱ. 2022年度第1四半期決算実績

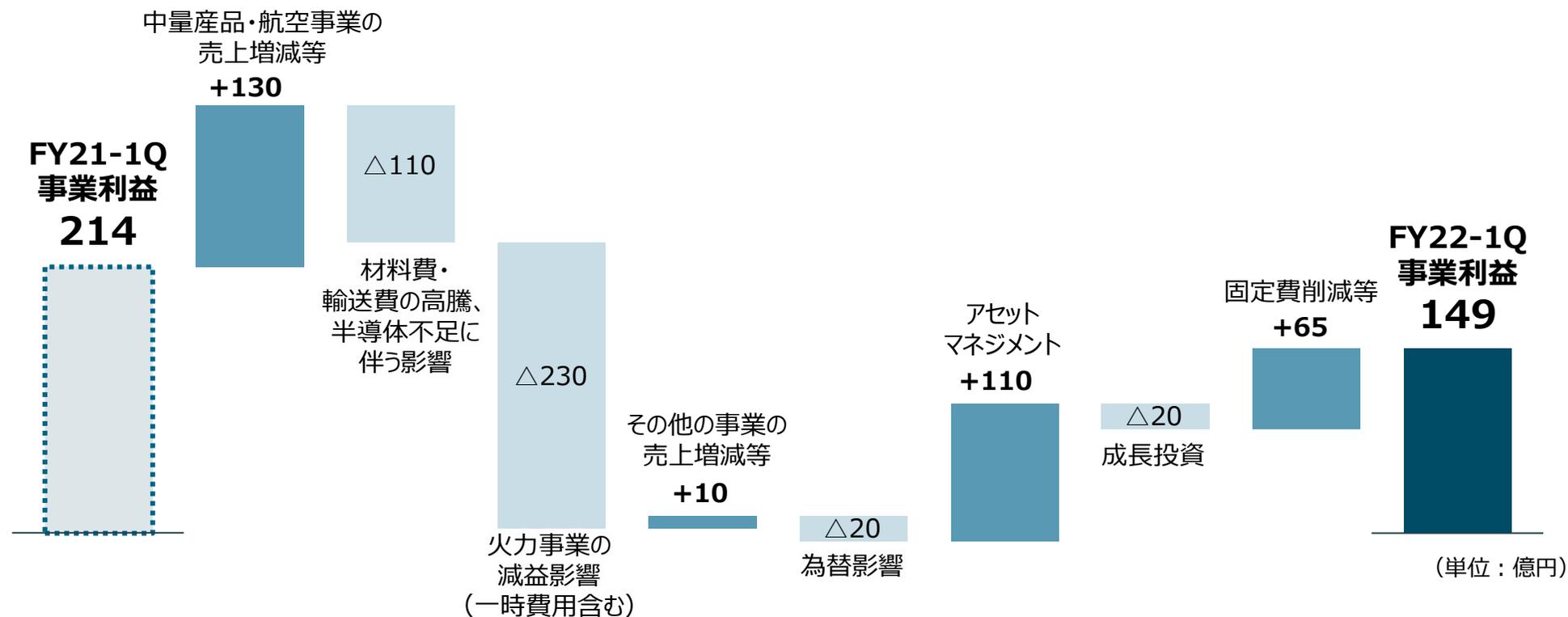
(単位：億円)	FY2021-1Q (利益率)	FY2022-1Q (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	7,504	9,178	+1,673	(+22.3%)
売上収益	8,517	8,713	+196	(+2.3%)
事業利益	214 (2.5%)	149 (1.7%)	△65 (△0.8%)	(△30.4%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	126 (1.5%)	191 (2.2%)	+65 (+0.7%)	(+51.7%)
EBITDA	537 (6.3%)	472 (5.4%)	△65 (△0.9%)	(△12.2%)
フリー・キャッシュ・フロー	△1,673	△1,597	+75	

連結財政状態、キャッシュ・フロー

連結財政状態	(単位：億円)	FY21末	FY22-1Q末	増減
売上債権（営業債権、契約資産）		13,994	13,940	△53
棚卸資産		7,986	8,845	+859
その他流動資産		6,050	7,423	+1,373
（現金及び現金同等物）		(3,142)	(3,791)	(+648)
固定資産		9,892	10,088	+195
投資等		13,239	13,349	+110
資産合計		51,163	53,648	+2,485
営業債務		8,632	7,657	△975
契約負債		8,865	9,321	+456
その他		9,690	9,836	+145
有利子負債		7,349	9,694	+2,345
資本		16,625	17,138	+513
（うち親会社の所有者に帰属する持分）		(15,766)	(16,212)	(+446)
負債・資本合計		51,163	53,648	+2,485
キャッシュ・フロー	(単位：億円)	FY21-1Q	FY22-1Q	増減
営業キャッシュ・フロー		△1,424	△1,481	△56
投資キャッシュ・フロー		△248	△115	+132
フリー・キャッシュ・フロー		△1,673	△1,597	+75

事業利益増減分析

- 材料費・輸送費の高騰の影響が利益を押し下げるも、中量産品・航空事業の売上増により挽回。価格適正化の効果は年度後半より顕在化する見込み
- 火力事業において前年同期の好採算工事進捗の反動により前年同期比で利益が減少。加えて、石炭火力事業の欧州拠点縮小に伴う一時費用を計上
- 一部工事の特殊要因として円安進行に伴う見積りコスト増などにより利益を押し下げ
- アセットマネジメント、固定費削減は順調に進捗し、事業利益を押し上げ



2022年度第1四半期決算実績 セグメント別内訳

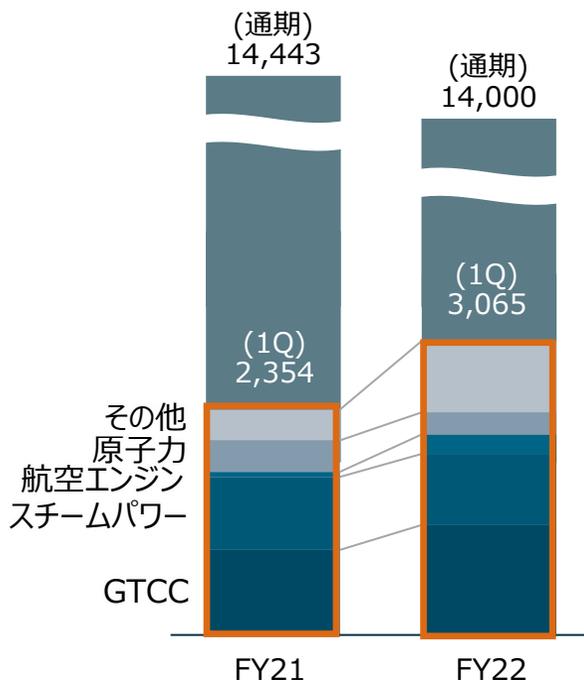


	受注高			売上収益			事業利益		
	FY21 1Q	FY22 1Q	増減	FY21 1Q	FY22 1Q	増減	FY21 1Q	FY22 1Q	増減
(単位：億円)									
エネルギー	2,354	3,065	+711	3,370	3,495	+124	87	△24	△112
プラント・インフラ	2,208	2,424	+215	1,549	1,318	△231	72	8	△64
物流・冷熱・ ドライブシステム	2,412	2,808	+396	2,350	2,659	+309	101	20	△80
航空・防衛・宇宙	618	970	+352	1,308	1,290	△17	35	65	+29
全社又は消去	△89	△90	△1	△61	△50	+11	△82	79	+162
合計	7,504	9,178	+1,673	8,517	8,713	+196	214	149	△65

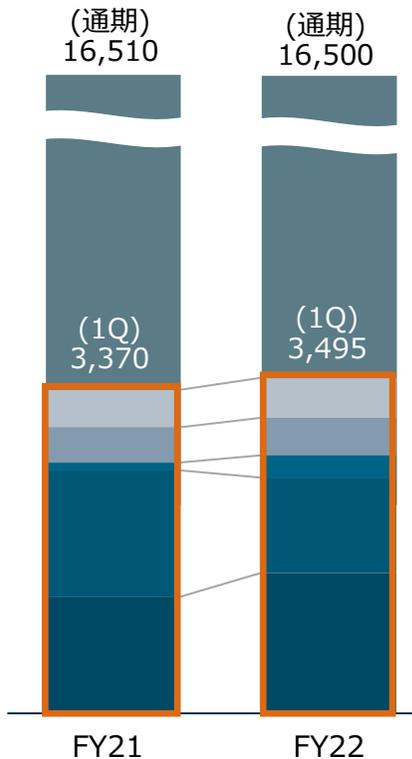
セグメント別 決算実績 <エナジー>

(単位：億円)

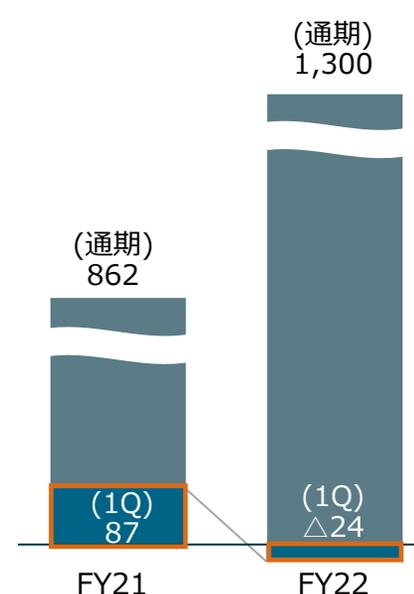
受注高



売上収益



事業利益



1Q実績 前年同期比

- 増益：**
- 航空エンジン
 - 原子力
- 減益：**
- GTCC
 - スチームパワー

主な事業	受注高	
	FY21-1Q	FY22-1Q
GTCC	897	1,155
スチームパワー	760	739
航空エンジン	52	201
原子力	326	232

	売上収益	
	FY21-1Q	FY22-1Q
	1,216	1,468
	1,320	990
	76	232
	369	387

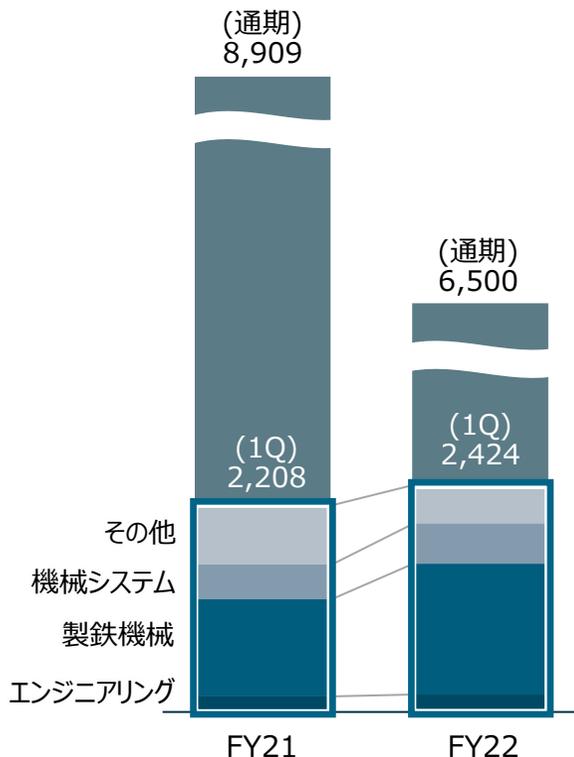
決算実績のポイント

- GTCCは受注・売上ともに好調
- スチームパワーは新設工事減により減収
- 石炭火力事業の欧州拠点縮小に伴う一時費用計上により事業利益押し下げ
- 航空エンジンは市況回復に伴い受注が伸長しており増収増益
- 原子力は堅調に推移

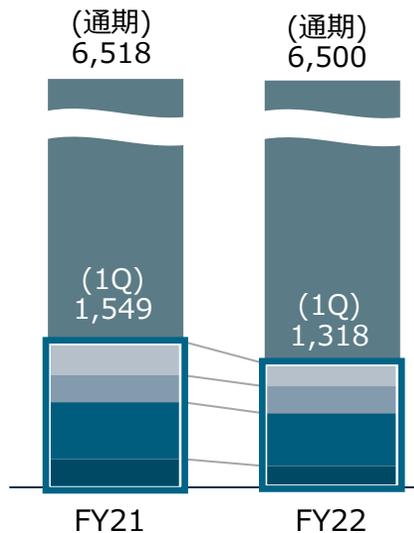
セグメント別 決算実績 <プラント・インフラ>

(単位：億円)

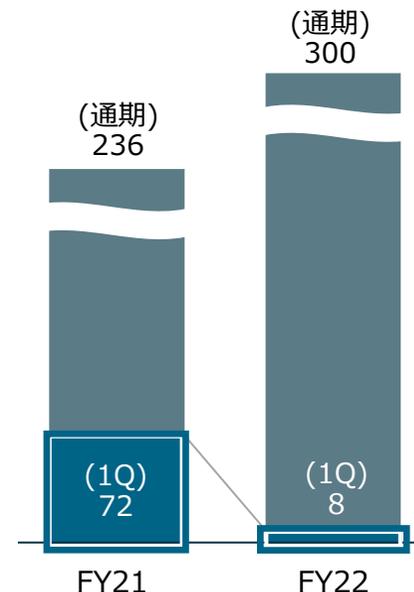
受注高



売上収益



事業利益



1Q実績 前年同期比

減益：
・エンジニアリング
・機械システム

主な事業	受注高	
	FY21-1Q	FY22-1Q
エンジニアリング	181	199
製鉄機械	1,032	1,389
機械システム	366	426

	売上収益	
	FY21-1Q	FY22-1Q
	303	227
	604	561
	284	286

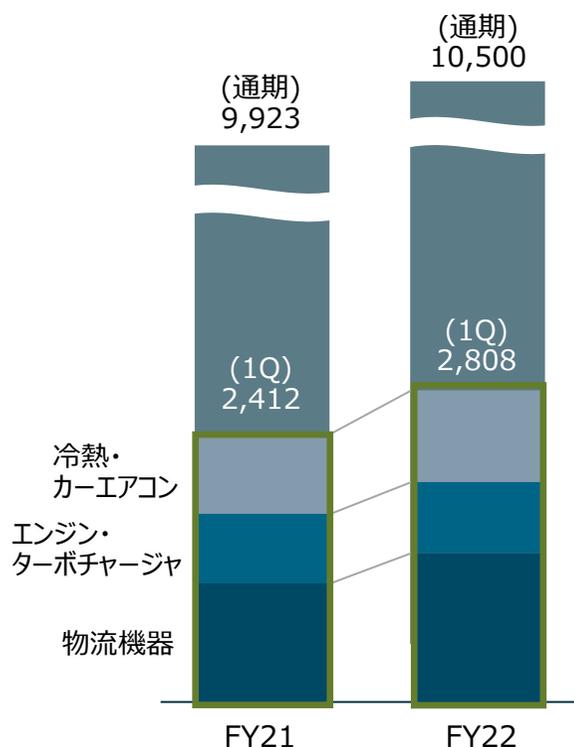
決算実績のポイント

- 製鉄機械は、鉄鋼メーカーの設備投資意欲が強く、日本を含むアジア、米州において新設案件を受注し、好調であった前年同期の受注高を上回る
- 一部案件において円安進行に伴う見積りコスト増加により事業利益を押し下げ

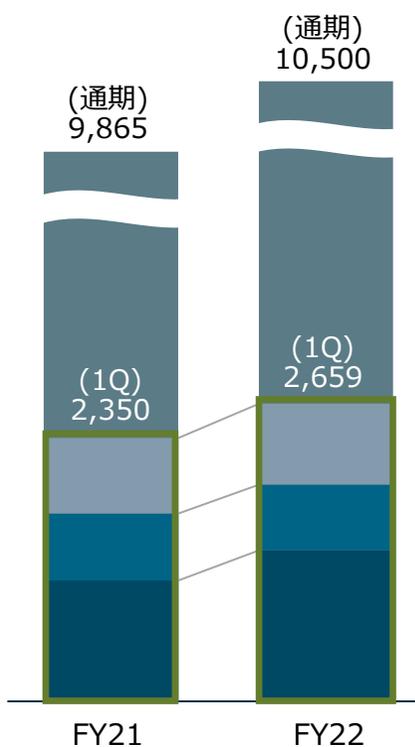
セグメント別 決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>

(単位：億円)

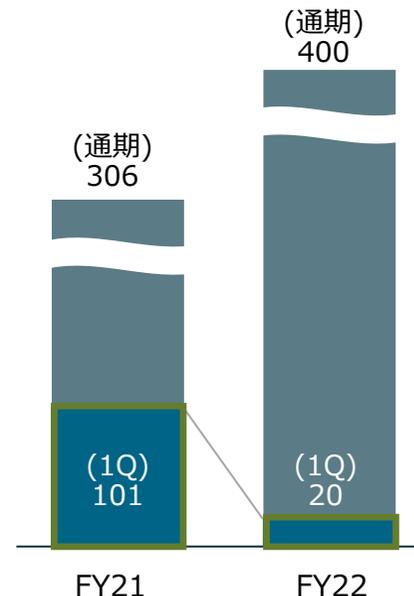
受注高



売上収益



事業利益



1Q実績 前年同期比

- 減益：**
- ・物流機器
 - ・ターボチャージャ
 - ・エンジン
 - ・冷熱

主な事業	受注高	
	FY21-1Q	FY22-1Q
物流機器	1,080	1,352
エンジン・ターボチャージャ	629	642
冷熱・カーエアコン	721	830

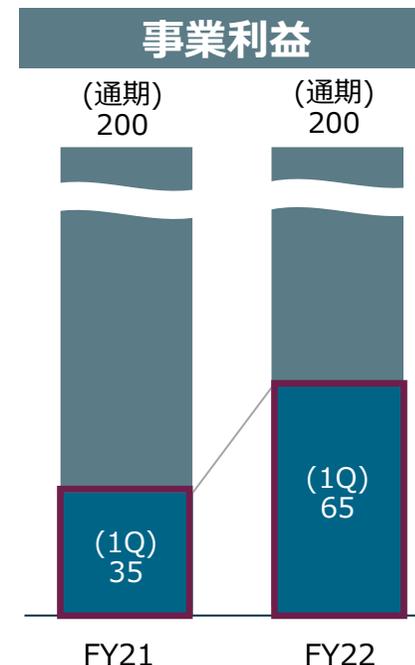
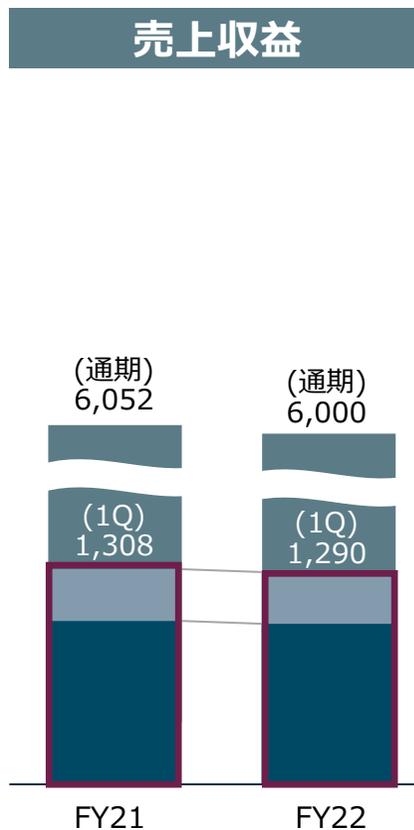
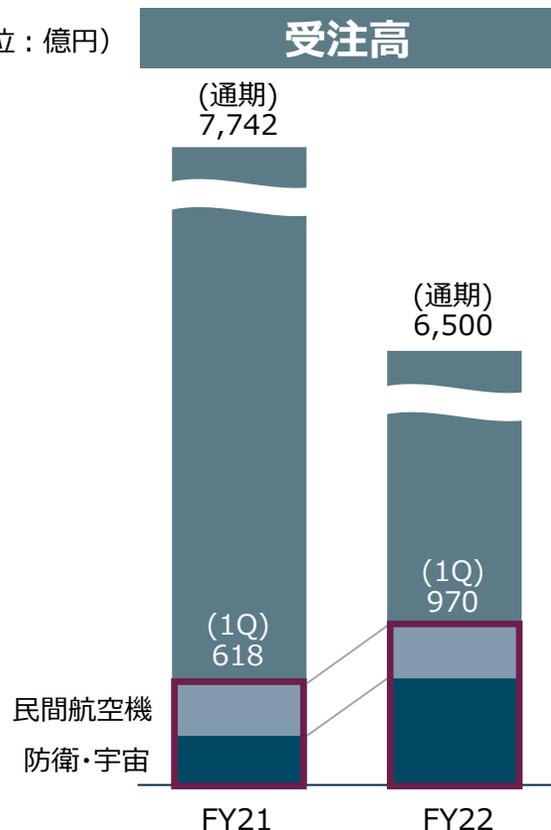
主な事業	売上収益	
	FY21-1Q	FY22-1Q
物流機器	1,080	1,352
エンジン・ターボチャージャ	604	592
冷熱・カーエアコン	683	731

決算実績のポイント

- 物流機器、冷熱、エンジンは、受注・売上ともに好調
- ターボチャージャは、半導体不足や中国・上海ロックダウンに伴う自動車メーカーの生産減の影響あり減収減益
- 材料費・輸送費の高騰影響継続。価格適正化の実現時期の時間差により減益

セグメント別 決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(単位：億円)



1Q実績 前年同期比

増益：

- 艦艇・特殊機械
- 民間航空機

減益：

- 防衛航空機・飛昇体

主な事業	受注高	
	FY21-1Q	FY22-1Q
防衛・宇宙	299	650
民間機	319	320

主な事業	売上収益	
	FY21-1Q	FY22-1Q
防衛・宇宙	992	973
民間機	315	316

決算実績のポイント

- 防衛・宇宙は、受注が前年同期比大幅増加、売上・利益は堅調に推移
- 民間機は、Tier1事業において航空機メーカー減産の影響が継続するも、固定費抑制と為替影響により前年同期比で増益

Ⅲ. 2022年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2022年度業績見通し サマリー

前回公表値（2022年5月12日）から変更なし

(単位：億円)	2021年度 (利益率)	2022年度 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	40,677	37,000	△3,677	(△9.0%)
売上収益	38,602	39,000	+398	(+1.0%)
事業利益	1,602 (4.2%)	2,000 (5.1%)	+398 (+0.9%)	(+24.8%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,135 (2.9%)	1,200 (3.1%)	+65 (+0.2%)	(+5.7%)
ROE	7.7%	7.7%	-	
EBITDA	2,924 (7.6%)	3,300 (8.5%)	+376 (+0.9%)	(+12.9%)
フリー・キャッシュ・フロー	3,018	△1,000	△4,018	
配当	100円 中間45円/期末55円	120円 中間60円/期末60円	前提為替レート：1ドル=120円、1ユーロ=130円 未確定外貨：24億ドル、4億ユーロ	

2022年度業績見通し セグメント別内訳

前回公表値（2022年5月12日）から変更なし

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY21 実績	FY22 見通し	増減	FY21 実績	FY22 見通し	増減	FY21 実績	FY22 見通し	増減
(単位：億円)									
エネルギー	14,443	14,000	△443	16,510	16,500	△10	862	1,300	+438
プラント・インフラ	8,909	6,500	△2,409	6,518	6,500	△18	236	300	+64
物流・冷熱・ ドライブシステム	9,923	10,500	+577	9,865	10,500	+635	306	400	+94
航空・防衛・宇宙	7,742	6,500	△1,242	6,052	6,000	△52	200	200	0
全社又は消去	△341	△500	△159	△345	△500	△154	△3	△200	△198
合計	40,677	37,000	△3,677	38,602	39,000	+398	1,602	2,000	+398

IV. 補足資料

大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	FY21-1Q	FY21通期	FY22-1Q
米州	-	5	1
アジア	1	5	3
EMEA	-	-	1
その他	-	6	-
合計	1	16	5
契約残台数	46	46	46

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY21	5	4	6	5	20
FY22	6	/	/	/	6

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY21	2	1	1	0	4
FY22	1	/	/	/	1

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY21	14	5	4	2	25
FY22	5	/	/	/	5

研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	FY21-1Q	FY22-1Q	2022年度見通し
研究開発費	227	207	1,300
減価償却費	323	323	1,300
設備投資	208	261	1,300

販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	FY21-1Q	FY22-1Q
販管費	1,365	1,429

為替レート (売上計上平均レート)

	FY21-1Q	FY22-1Q
USドル (円 / USドル)	108.7	125.0
ユーロ (円 / ユーロ)	132.1	136.0

受注残高 (単位：億円)	FY21-4Q	FY22-1Q
エネルギー	31,144	31,967
プラント・インフラ	12,434	13,475
物流・冷熱・ドライブシステム	432	583
航空・防衛・宇宙	10,871	10,565
合計	54,885	56,595

地域別売上高 (単位：億円)	FY21-1Q		FY21通期		FY22-1Q	
日本	3,882	(46%)	18,877	(49%)	3,607	(41%)
アジア・パシフィック	1,578	(19%)	7,116	(18%)	1,715	(20%)
米州	1,700	(20%)	7,399	(19%)	2,193	(25%)
EMEA	1,355	(16%)	5,208	(14%)	1,197	(14%)
合計	8,517	(100%)	38,602	(100%)	8,713	(100%)

